

避難所とは？

災害発生時に避難する場所には、以下の2種類があります。

- ①指定緊急避難場所…その場に留まっていたは死ぬかもしれない「災害」から命を守るために逃げ込む場所
- ②指定避難所…命を守った後に、一時的な生活をする場



災害発生時、実際に避難所を運営するのは行政ではなく、避難所を利用する住民達自身になります。そもそも行政職員も被災者となりますし、数名の職員で数十名～数百名が生活する避難所を運営することは不可能です。避難所はホテルではなく共同生活の場、自分自身が運営に参加するという意識が必要になります。
(備える.jp ホームページより)

災害ボランティアフォーラム 2022 参加申込書

(ふりがな) お名前			
お住まい	〒		
電話番号(携帯可)			
Eメール			
千代田区との関わり	<input type="checkbox"/> 在住 <input type="checkbox"/> 在勤 <input type="checkbox"/> 在学 <input type="checkbox"/> 個人ボランティア登録者 <input type="checkbox"/> 区内での活動者 <input type="checkbox"/> 区外(区内で活動意思のある方)		
Zoom の使用について ※3月11日(金)16時～ 17時に練習日を設けてあ ります。	<input type="checkbox"/> 使用は初めて <input type="checkbox"/> 経験あり <input type="checkbox"/> zoom の操作に不安が あり、練習を希望する	使用 する 端 末	<input type="checkbox"/> iphone(アイフォン) <input type="checkbox"/> Android(アンドロイド) <input type="checkbox"/> タブレット(<input type="checkbox"/> パソコン

お送りいただいた個人情報は、本事業に関すること以外では使用いたしません。

参加上のご注意

- 参加者には、参加するためのログインパスワードをメールでお送りいたします。Eメールアドレスを必ず読みやすい字で記入してください。
- フォーラムは、Zoom ミーティングで行います。指定の時間5分前までには、ログインをしてください。

在宅避難生活について考える

●日時 2022年**3月14日**(月)18:30～20:00

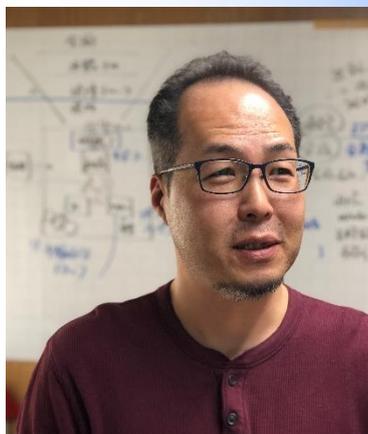
●定員 50名 **参加無料** ●実施方法 Zoom ミーティング

ゲスト

【基調講演・対談者】

にいがた災害ボランティアネットワーク

事務局長 **李仁鉄氏**



山形市生まれ、新潟県三条市在住。
2004年7月に発生した水害で自分自身が被災。3ヶ月後に発生した中越大震災の際には、1ヶ月ほどボランティア活動（新潟県長岡市にて）に参加。その後、『にいがた災害ボランティアネットワーク』に、ボランティアスタッフとして参画。その後、会の法人化に伴い常勤職員へ。2008年5月より事務局長、2017年からは理事長に就任。

【対談者】

一般社団法人 地域防災支援協会

代表理事 **三平 洵氏**



東京生まれ。東京工業大学グローバルCOE研究員（RA）などを経て、イオタ防災総合研究所入社。2012年から代表取締役。また2014年に一般社団法人地域防災支援協会を設立し、代表理事に就任。東京都総合防災部や生活文化局主催の講習会で講師を務めるなど、地域活動や防災活動にも精通。また「シニアのための防災手帖」など、防災コンテンツの監修を手掛けながら、対策啓発を推進している。

どうする!?
避難生活!

【プログラム】

第1部…基調講演

災害に遭った時の避難生活について

第2部…対談

避難所での生活と在宅避難生活。何が違うの？

★申込対象は、千代田区在住・在勤・在学者、および区内でボランティア活動している方になります。

★Zoom ミーティングを使用して開催します。インターネットに接続できるパソコン、スマートフォン等をご用意ください。

【申込・問合せ】

千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター 〒102-0074 千代田区九段南 1-6-10 かがやきプラザ4階

TEL03-6265-6522

FAX03-3265-1902 Mail:volunteer@chiyoda-cosw.jp